

小規模の自治体において、
持続的・発展的な架け橋期のカ
リキュラムを開発する仕組みを
どのようにして構築するか

大分県竹田市立南部小学校・南部幼稚園

教頭 副園長 猪股良継

大分県竹田市

- 人口 19,959人
85歳以上の人口割合が日本一
- 小学校 11校
(6校は複式)
- 幼稚園 公立2 私立1
- 保育所 公立2 私立5
- こども園 私立2



カリキュラム開発会議

【構成メンバー】 ※14名で構成

- ①幼保小の施設長、教諭（市幼児教育A d含む） 5名
小2 幼2 保1 こ1
- ②教育委員会、子育て担当部局 2名
- ③大学や専門学校（大分大学麻生准教授） 1名
- ④幼保小の関係団体（①と兼ねる）
- ⑤保護者や地域の関係者 2名
- ⑥有識者（県指導主事 作業療法士） 3名
- ⑦架け橋期のコーディネーター（幼児教育S V） 1名

保護者代表

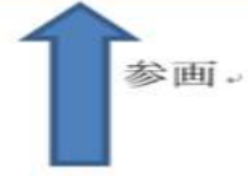
大分大学
教育学部

大分県教育庁
幼児教育センター

療育施設
関係者



竹田市架け橋期のカリキュラム開発会議



モデル校
モデル園

カリキュラム開発会議
作業部会



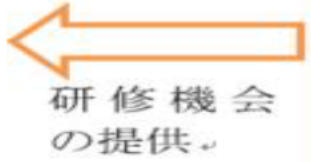
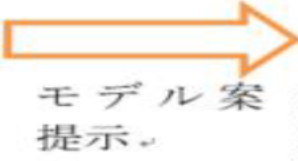
保育所・こども園・私立幼稚園
(10園)
竹田市教育保育協議会

公立幼稚園 (2園)
竹田市公立幼稚園会

小学校 (11校)
竹田教育研究会
小学校1年部会



幼保こ小合同研修会



作業部会

【構成】

モデル園（南部幼稚園）

- ・ 5歳児担任
- ・ 主幹教諭（市幼児教育A d）

モデル校（南部小学校）

- ・ 1年生担任
- ・ 教務主任



幼児教育S V（架け橋コーディネータ）

幼児教育センター指導主事

竹田市指導主事

麻生准教授



【幼保小の架け橋プログラムの実施に関する視点】

- 幼保小の教育のつながりを意識した活動が、子供の豊かな体験を生み出し、主体的・対話的で深い学びの実現につながります
- 施設類型・設置者・学校種を越えて、幼保小の先生が、気軽に話し合える関係を構築し、対話を大切にするとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて協働して取り組み、発信しましょう
- 園・学校等外との連携については、書類上はしっかりとまとめられているが具体的な取組が進まないという批判も聞かれます。実質的な話し合いや実践を重視し、そうした具体的な取組を可視化し関係者で共有するために、わかりやすい書類を作成していくという意識で取り組みましょう
- ICTやオンライン等の活用により、先生の負担軽減や時間の効率的使用も図りつつ、効果的に取り組めるようにしましょう
- 全ての先生が関わるプロセスや、組織的な体制づくりを大切にし、接続に関する取組を年間計画に位置付け、持続的・発展的な取組を目指しましょう
- 形式的な取組とならないよう、家庭や地域も一緒に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、子供の姿を起点に話し合いを深めましょう



1年目（令和4年度） の主な取組

【重点】

相互の教育の内容や方法に関する理解を深める

【主な取組】

- 幼保こ小の職員が参加する合同研修会
- 教育実践・保育実践の「見える化」

竹田市幼保こ小合同研修会

小学校教員の92%が参加
幼児教育施設は、各1名が参加

R4年度 1月～2月に市内
4ブロックに分けて開催

○小学校1年の授業公開

○架け橋コーディネータによる講演

「幼児教育と小学校教育の連携と接続の推進について
～『架け橋プログラム』の実施に向けて～」

○保育実践事例を用いた幼児教育理解のワークショップ
(10の姿などを視点にして)

幼保小の連携とは・・・

▶「[連絡提携れんらくていけい]の意」連絡を密に取り合って、一つの目的のために一緒に物事をする。

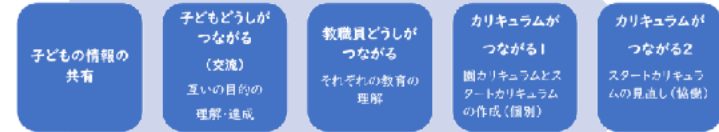
(一つの目的のために) 幼保小の
人と人が交流する、一緒に活動すること

幼保小の接続とは・・・

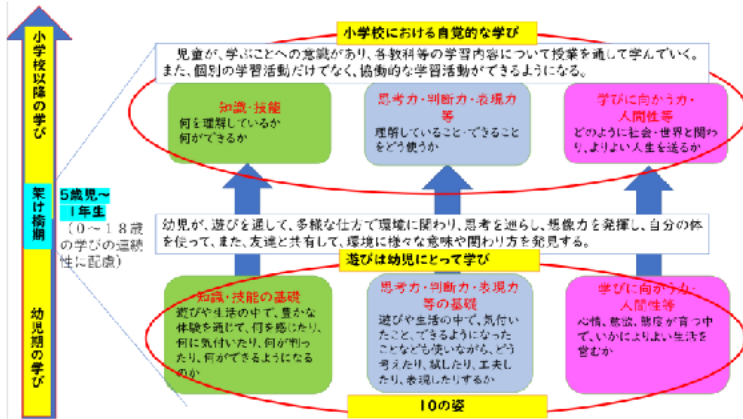
▶二つ以上のものがつながること。また、つなぐこと。

幼保小の(学び・カリキュラム)が
つながること

これまでの幼保小の連携・接続は どういう状況ですか？



子どもの姿・子ども理解・子どもの学び(共通の視点「3つの資質・能力」「10の姿」)



ここにこれまでも示
されていたもの

しかし、十分な連携・
接続ではなかった

「架け橋(期)
カリキュラム」
年長児と小学校1年
生の2年間に「架け
橋期」として、そのカリ
キュラムをそれぞれの
時期にふさわしい教育、
連続性のあるもの
にする

| 小学校1学年 | 社会 | 総合的な学習の時間 | 理科 |
|------------------|--|---|---|
| 社会的規範の 見方・考え方 | 社会や国際的な状況、国際 化の進展、多文化共生の 取組の重要性、文化の 多様性、国際的な関心 の醸成など、国際的な 視点から考えること | 総合的な見方・考え方を 養い、主体的に学習し、 探究する力を育てること | 身近な自然の観察・写生 を、基礎的な観察や時 刻・方位の観察などの 科学的態度で進め、見 聞かせ、資料調べなどの 活動を通して進めること |
| 国語 | 国語の学習の意義、 国語の学習の楽しさ、 国語の学習の楽しさ、 国語の学習の楽しさ、 国語の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 算数 | 算数の学習の意義、 算数の学習の楽しさ、 算数の学習の楽しさ、 算数の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 英語 | 英語の学習の意義、 英語の学習の楽しさ、 英語の学習の楽しさ、 英語の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 音楽 | 音楽の学習の意義、 音楽の学習の楽しさ、 音楽の学習の楽しさ、 音楽の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 美術 | 美術の学習の意義、 美術の学習の楽しさ、 美術の学習の楽しさ、 美術の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 体育 | 体育の学習の意義、 体育の学習の楽しさ、 体育の学習の楽しさ、 体育の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 道徳 | 道徳の学習の意義、 道徳の学習の楽しさ、 道徳の学習の楽しさ、 道徳の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |
| 特別活動 | 特別活動の学習の意義、 特別活動の学習の楽しさ、 特別活動の学習の楽しさ、 特別活動の学習の楽しさ | 生活科 | 生活科 |

幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)(中教審審197号)別添、補正資料より抜粋

架け橋コーディネータによる講演

あひるの競争ごっこの事例

作ったあひるに愛着を持ち始めた子どもたち。4歳児クラスに持っていき、世話をしながら遊んだり、紐をつけ園庭を散歩させたり、膝に抱え一緒にブランコに乗ったりする子どもがでてきた。この事例は「あひるの競争をしたい」と目的をもって遊び始めた子どもたちの様子である。

あひるを板の上から滑らせて遊んでいた。繰り返し滑らせる子ども、滑車の向きをそろえてスタートさせる子ども、そっと手を放す子ども、勢いをつけて滑らせる子どもと遊び方・楽しみ方はさまざまであった。「ゴールまで行った!」「やったー!1位になった!」「一緒に競争しよう!」と、次第に友だちのあひると競争をしたい、勝ちたいという競争意識が表情や言動に現れてきた。競争意識が出てくると、遊び方や工夫も変化する。(横に落ちないための工夫・ゴールラインの必要性やゴールの位置をどこにするかなど) もっとこうしたらいい!という思いや回りから考えが生まれ、遊びが進んでいた。

子どもの姿

- ・どんな学びや経験をしているか
- ・いいなあと思う姿等を記入

例

どうすればいいか考えを出し合って、よりよい方法を考えた。

「ずるい!」
～平等性への気づきをきっかけに～

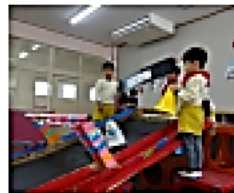
<育ちが期待される姿>

協同性、道徳性・規範意識の芽生え、
社会生活との関わり、思考力の芽生え、
(自然との関わり) 生命尊重
言葉による伝え合い、数量や図形、
標識や文字などへの関心・感覚等

ある日、スタート位置からあひるを競争させた時に、B児があひるを手で勢いよく押して一位になったことに対し、S児が「えー、Bくんずるい」と言った。線からスタートさせているのにずるいと言われ、B児は「何でずるいん!」と納得のいかない表情。そこで、S児とB児双方から話を聞くことにした。S児「あんな、ここ(線を過ぎて)までぎゅって手で押したんで」「それで一位になったんで」B児「おしてない!」の平行線だった。

そこで「スタートのこと、ちょっと他の友だちにも考えを聞いてみよう」と、同じ場で遊んでいた数人の子どもたちを集めた。思いを聞くと、スタート位置でのタイミングが難しいと感じている様子であった。「うーん、どうしよう」と考え合っていると、J児が「あれ使えばいいんじゃないかな」と、材料コーナーから、プラスチック板を持ってきた。「どうやって使うの?」と尋ね、J児の考えが周りの子どもたちに伝わるように実際にやってみる場を設けた。

ボードを持つ役割の子どもが必要となるが、一斉にスタートできそうな様子から「いいかもしれん」「ちょっとそれでやってみよう」と試すことになった。「それだったら一斉にスタートできそうだね」と、(まだ遊び方を決定せず)その後の様子を見守ることにした。



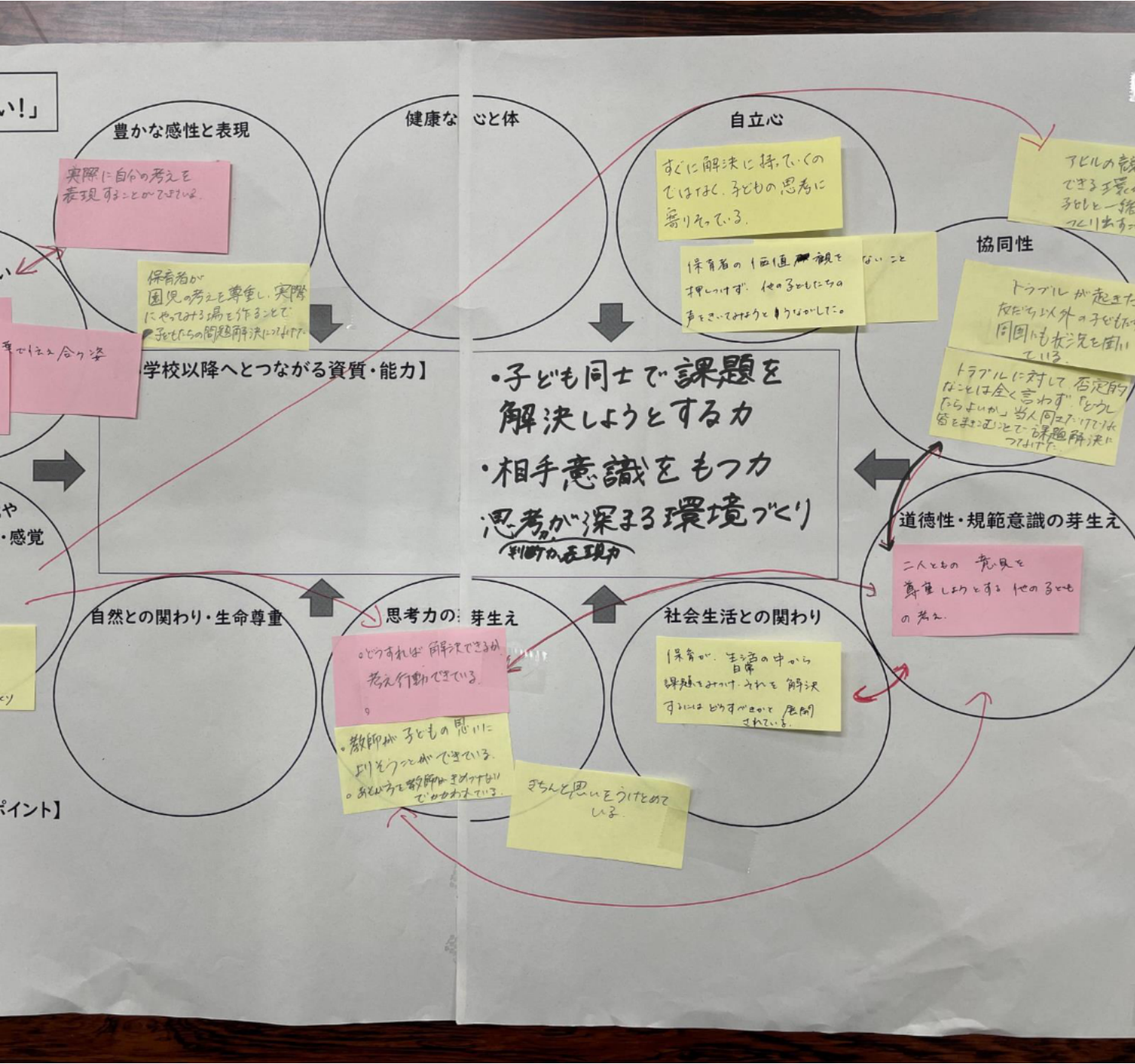
保育実践事例を用いたワークショップ

環境の構成や保育者の援助

- ・そのような子どもの姿が見られたのは、どのような環境の構成や援助があったからか
- ・いいなあと思う環境の構成や援助等を記入

例

「ちょっと他の友だちにも考えを聞いてみよう」と、子どもたち皆で考え合う場を設けたことにより、よりよい方法を自分たちで見つけた。



参加者の感想（小学校関係者）

- 「ゼロからのスタートではない」という言葉にドキッとした。
- 目ざす子どもの姿を共有することで連携・接続がスムーズになるのではないか
- 事例の場面に多くの学びがある事に驚いた。いかに日頃自分たちが子どもたちの学びを保障してないかを反省した。
- 年長さんのこどもたちが、「話し合いで解決できる」事をお聞きして、衝撃を受けました。
- 機会があれば、保育参観をして子どもたちの様子をじっくりと観察してみたい。

参加者の感想（幼児教育施設関係者）

- 幼児教育の大切さ、小学校以降の教育の土台となるという事を小学校の先生と共通理解できて有意義だった。
- 自分が子どもの気づきや疑問、「やってみたい」に耳を傾けることができるか？日々の生活や活動に追われそんな子どもの姿を見逃しているのではないかと振り返る良い機会になった。
- もっと意見交換ができる機会があれば良いと思った。

参加者の感想に見る変化

1回目（R4年度）

1回目の感想の特徴：

初めての驚き：参加者たちは初めて「架け橋プログラム」に触れ、その有効性や可能性に驚きを感じています。

期待の高まり：今後の取り組みや続く研修に対する期待感が感じられます。

実践への意欲：新しい方法やアイデアを自らの現場に取り入れる意欲が強調されています。

2回目（R5年度）

2回目の感想の特徴：

実践の深化：1回目の驚きや学びが実際の教育現場での取り組みとして深化し、具体的な成果や変化が観察されています。

連携の強調：幼児教育と小学校教育の連携の重要性やその具体的な方法についての言及が増えています。

自己反省と成長：教育者自身の成長や自己反省のプロセスがより強調され、その中での新たな気づきや学びの深まりが感じられます。

「架け橋期のめざず子ども像」作成にかかわるアンケート

【竹田市学校教育ビジョン】重点目標より

将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら

多様な他者と協力し 自分の考えを形成していくとともに 主体的に学び続ける子どもを育成する



架け橋期

0～4歳

5歳児

1年生

2年生以降

この時期にどのような力（資質・能力）を持った子どもを育むことが大事と考えますか。※3つまでに絞ってご回答ください。

○

○

○

施設名

【送付先】 FAX 0974-63-2373 メール yoshitsugu-inomata@city.taketa.lg.jp

担当 竹田市教育委員会 指導主事 猪股良継

竹田市架け橋期のカリキュラム (南部幼小モデルプラン)

R5.6.23現在

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|--|---|--|---|--|--|
| <p>期待する子ども像</p> | <p>竹田市教育ビジョン 主体的に学び未来を創造する子ども 一将来の予測が困難な時代において、情報を活用しながら他者と協力し自分の考えを形成していくとともに主体的に学び続ける子どもを育成する～ ◎重点目標・情報活用能力 ○協働的な学び ○自分の考えを形成する力 ○主体的に学び続ける意欲</p> | | | | | | | | |
| <p>遊びや学びのプロセス</p> | <table border="1"> <tr> <td data-bbox="121 305 1050 360"> <p>5歳児</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>遊びや生活を通して総合的に学ぶ</p> <p>好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ 友だちと互いの思いや考えを話し合いながら楽しむ 共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めたい楽しさを感じる</p> </td> <td data-bbox="1050 305 1172 360"> <p>考えをもち表現する子</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> </td> <td data-bbox="1172 305 2145 360"> <p>小学校1年生</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>各教科の内容を系統的に学ぶ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 360 1050 1478"> <p>五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む (戸外で、友だちと一緒にするなど)</p> <p>友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ (考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など)</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる (世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする</p> <p>様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ (歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)</p> <p>固定器具や運動道具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる</p> <p>【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</p> <p>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</p> <p>【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>秋の自然物を選び取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中で、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊重</p> <p>共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ・ゆとりや楽しさを味わう ・手作りやた・すごろく等 ☆数量・図形、橋渡しや文字などへの関心・感覚 ☆協働性</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>○自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する (知・技の基礎)</p> <p>○自ら判断したり考え直したりする (思・判・表の基礎)</p> <p>○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む (学・人)</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> <p>○考える、予想する、試す、工夫するなどする (思・判・表の基礎)</p> <p>○自分のやりたいことをあきらめずにやり続ける (学・人)</p> <p>○新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをより良いものにする (学・人)</p> </td> <td data-bbox="1050 360 2145 1478"> <p>安心をつくる時間 ・弾力的な時間の運用 ⇒生活科を中心とした学習活動 科学的・関連的学習活動 (例:図の中の太字の教科等) ⇒教科等学習活動</p> <p>【わくわくがいっぱいいきよから1年生】 ④ 【わくわくどきどきしょうがっこう】 ⑥ ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆健康な心と体 ☆社会生活とのかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【なかよくならうね小さなともだち】 ⑩ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語・算数</p> <p>【きせつとなかよしはるなつ】 ⑫ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしあき】 ⑭ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしふゆ】 ⑯ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きれいにさいてね わたしのはな】 ⑰ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現 算数・国語・図画工作・道徳</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 1478 1050 1520"> <p>指導上の配慮事項</p> <p>□活動を展開するのふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りできるように場を設ける</p> <p>◇見守る、一極に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> </td> <td data-bbox="1050 1478 2145 1520"> <p>【】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)</p> <p>□安心して学べる環境構成⇒見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる</p> <p>◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う</p> <p>◇関わりを広げる支援⇒ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる</p> <p>◇課題への合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にしたい指導計画</p> <p>◇「園ではどうした?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促す言葉かけ</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="121 1520 2145 1560"> <p>家庭や地域との連携</p> <p>幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解 (保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信など)</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用</p> <p>「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」</p> <p>体力づくりプログラム(「たけたん体操」の普及)</p> </td> </tr> </table> | <p>5歳児</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>遊びや生活を通して総合的に学ぶ</p> <p>好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ 友だちと互いの思いや考えを話し合いながら楽しむ 共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めたい楽しさを感じる</p> | <p>考えをもち表現する子</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> | <p>小学校1年生</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>各教科の内容を系統的に学ぶ</p> | <p>五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む (戸外で、友だちと一緒にするなど)</p> <p>友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ (考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など)</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる (世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする</p> <p>様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ (歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)</p> <p>固定器具や運動道具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる</p> <p>【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</p> <p>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</p> <p>【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>秋の自然物を選び取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中で、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊重</p> <p>共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ・ゆとりや楽しさを味わう ・手作りやた・すごろく等 ☆数量・図形、橋渡しや文字などへの関心・感覚 ☆協働性</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>○自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する (知・技の基礎)</p> <p>○自ら判断したり考え直したりする (思・判・表の基礎)</p> <p>○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む (学・人)</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> <p>○考える、予想する、試す、工夫するなどする (思・判・表の基礎)</p> <p>○自分のやりたいことをあきらめずにやり続ける (学・人)</p> <p>○新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをより良いものにする (学・人)</p> | <p>安心をつくる時間 ・弾力的な時間の運用 ⇒生活科を中心とした学習活動 科学的・関連的学習活動 (例:図の中の太字の教科等) ⇒教科等学習活動</p> <p>【わくわくがいっぱいいきよから1年生】 ④ 【わくわくどきどきしょうがっこう】 ⑥ ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆健康な心と体 ☆社会生活とのかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【なかよくならうね小さなともだち】 ⑩ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語・算数</p> <p>【きせつとなかよしはるなつ】 ⑫ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしあき】 ⑭ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしふゆ】 ⑯ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きれいにさいてね わたしのはな】 ⑰ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現 算数・国語・図画工作・道徳</p> | <p>指導上の配慮事項</p> <p>□活動を展開するのふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りできるように場を設ける</p> <p>◇見守る、一極に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> | <p>【】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)</p> <p>□安心して学べる環境構成⇒見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる</p> <p>◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う</p> <p>◇関わりを広げる支援⇒ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる</p> <p>◇課題への合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にしたい指導計画</p> <p>◇「園ではどうした?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促す言葉かけ</p> | <p>家庭や地域との連携</p> <p>幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解 (保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信など)</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用</p> <p>「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」</p> <p>体力づくりプログラム(「たけたん体操」の普及)</p> |
| <p>5歳児</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>遊びや生活を通して総合的に学ぶ</p> <p>好きな遊びを見つけ友だちと一緒に遊ぶ 友だちと互いの思いや考えを話し合いながら楽しむ 共通の目的に向かって、互いの思いや考えを受け入れながら、自分たちで遊びを進めたい楽しさを感じる</p> | <p>考えをもち表現する子</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> | <p>小学校1年生</p> <p>4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3</p> <p>各教科の内容を系統的に学ぶ</p> | | | | | | | |
| <p>五領域(健康・人間関係・環境・言葉・表現)</p> <p>体を十分に動かして、いろいろな運動や遊びに進んで取り組む (戸外で、友だちと一緒にするなど)</p> <p>友だちの話を聞き、互いの思いや考えを伝え合いながら、友だちと目的を共有し協働することを楽しむ (考える、伝え合う、工夫する、認め合う、協力する、見通しをもつ、折り合いをつける、ルールの共有など)</p> <p>数量や図形、文字などに親しみ、遊びや生活の中で使う楽しさを感じる</p> <p>身近な自然や動植物に興味や関心をもち、関わる (世話をする、遊びに取り入れる、仕組みに気づくなど)</p> <p>絵本や物語などに親しみ、言葉やイメージを豊かにする</p> <p>様々な出来事や素材に触れ感じたことや考えたことを表現して楽しむ (歌う、楽器を使う、かく、つくるなど)</p> <p>固定器具や運動道具に興味を持ち、体を動かして遊ぶ楽しさを感じる</p> <p>【忍者ごっこ】 ☆健康な心と体 ☆自立心</p> <p>自分なりに考えたり、気づいたことを友だちと伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ</p> <p>【シャボン玉遊び】 ☆思考力の芽生え ☆言葉による伝え合い</p> <p>秋の自然物を選び取り入れ、友だちと協力して遊ぶ中で、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ☆協働性 ☆言葉による伝え合い ☆自然とのかわり・生命尊重</p> <p>共通の目的に向かって友だちと協力して遊ぶ中、ゆとりや楽しさを味わう</p> <p>【お正月のおぼろさんごっこ】 ・ゆとりや楽しさを味わう ・手作りやた・すごろく等 ☆数量・図形、橋渡しや文字などへの関心・感覚 ☆協働性</p> <p>伝え合い認め合う子</p> <p>○自分と異なる考えに気づき互いの考えなどを共有する (知・技の基礎)</p> <p>○自ら判断したり考え直したりする (思・判・表の基礎)</p> <p>○友だちと考えを共有し、共通の目的に向かって取り組む (学・人)</p> <p>探究心をもち粘り強く取り組む子</p> <p>○考える、予想する、試す、工夫するなどする (思・判・表の基礎)</p> <p>○自分のやりたいことをあきらめずにやり続ける (学・人)</p> <p>○新しい考えを生み出す喜びを味わいながら自分の考えをより良いものにする (学・人)</p> | <p>安心をつくる時間 ・弾力的な時間の運用 ⇒生活科を中心とした学習活動 科学的・関連的学習活動 (例:図の中の太字の教科等) ⇒教科等学習活動</p> <p>【わくわくがいっぱいいきよから1年生】 ④ 【わくわくどきどきしょうがっこう】 ⑥ ◎学校・家庭及び地域の生活に関する内容 (1)学校と生活 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆健康な心と体 ☆社会生活とのかわり ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【なかよくならうね小さなともだち】 ⑩ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語・算数</p> <p>【きせつとなかよしはるなつ】 ⑫ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い (9)自分の成長</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしあき】 ⑭ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きせつとなかよしふゆ】 ⑯ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (4)公共物や公共施設の利用 (5)季節の変化と生活 (6)自然やものを使った遊び (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆道徳性・規範意識の芽生え ☆言葉による伝え合い 国語</p> <p>【きれいにさいてね わたしのはな】 ⑰ ◎身近な人々、社会および自然にかかわる活動に関する内容 (7)動植物の飼育・栽培 (8)生活や出来事の伝え合い</p> <p>☆自然とのかわり生命尊重 ☆思考力の芽生え ☆豊かな感性と表現 算数・国語・図画工作・道徳</p> | | | | | | | | |
| <p>指導上の配慮事項</p> <p>□活動を展開するのふさわしい環境の構成(遊具・用具・素材の種類、数量、配置等)</p> <p>◇子どもの興味・関心を引き出す導入の工夫</p> <p>◇見通しをもったり、振り返りできるように場を設ける</p> <p>◇見守る、一極に活動する、共感するなど場に応じた言葉かけや援助を行う</p> | <p>【】は遊び・活動例 ☆遊びの中で期待する「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(到達目標ではない)</p> <p>□安心して学べる環境構成⇒見通しをもってできる・視覚的に理解できる・協働的に学べる</p> <p>◇「スタートカリキュラム」の時期は安心して学習がスタートできるように、音楽や読み聞かせ等を1時間目に行う</p> <p>◇関わりを広げる支援⇒ペア・グループ・学級・学校全体へ ◇体験活動を取り入れる</p> <p>◇課題への合わせ方、児童の意識の流れ、振り返りを大切にしたい指導計画</p> <p>◇「園ではどうした?」「どう思う?」「どうしたらいいと思う?」など経験の想起・思考を促す言葉かけ</p> | | | | | | | | |
| <p>家庭や地域との連携</p> <p>幼児教育と小学校教育のつながり、「架け橋期のカリキュラム」等についての理解 (保護者会、入園・入学説明会、学校運営協議会、通信など)</p> <p>竹田市こども「せいかつTOP10」(幼児版)の活用</p> <p>「南小っ子 生活の約束」「南小っ子 学習の約束」</p> <p>体力づくりプログラム(「たけたん体操」の普及)</p> | | | | | | | | | |

竹田市立南部幼稚園 6月中旬(6月15日~20日)「シャボン玉あそび」

【ねらい】自分なりに考えたり、気づいたことを友達と伝え合ったりしながら、試行錯誤して遊ぶことを楽しむ。

【内容】友だちと一緒に、しゃぼん玉液作りや、しゃぼん玉遊び用の道具作りをして楽しむ。

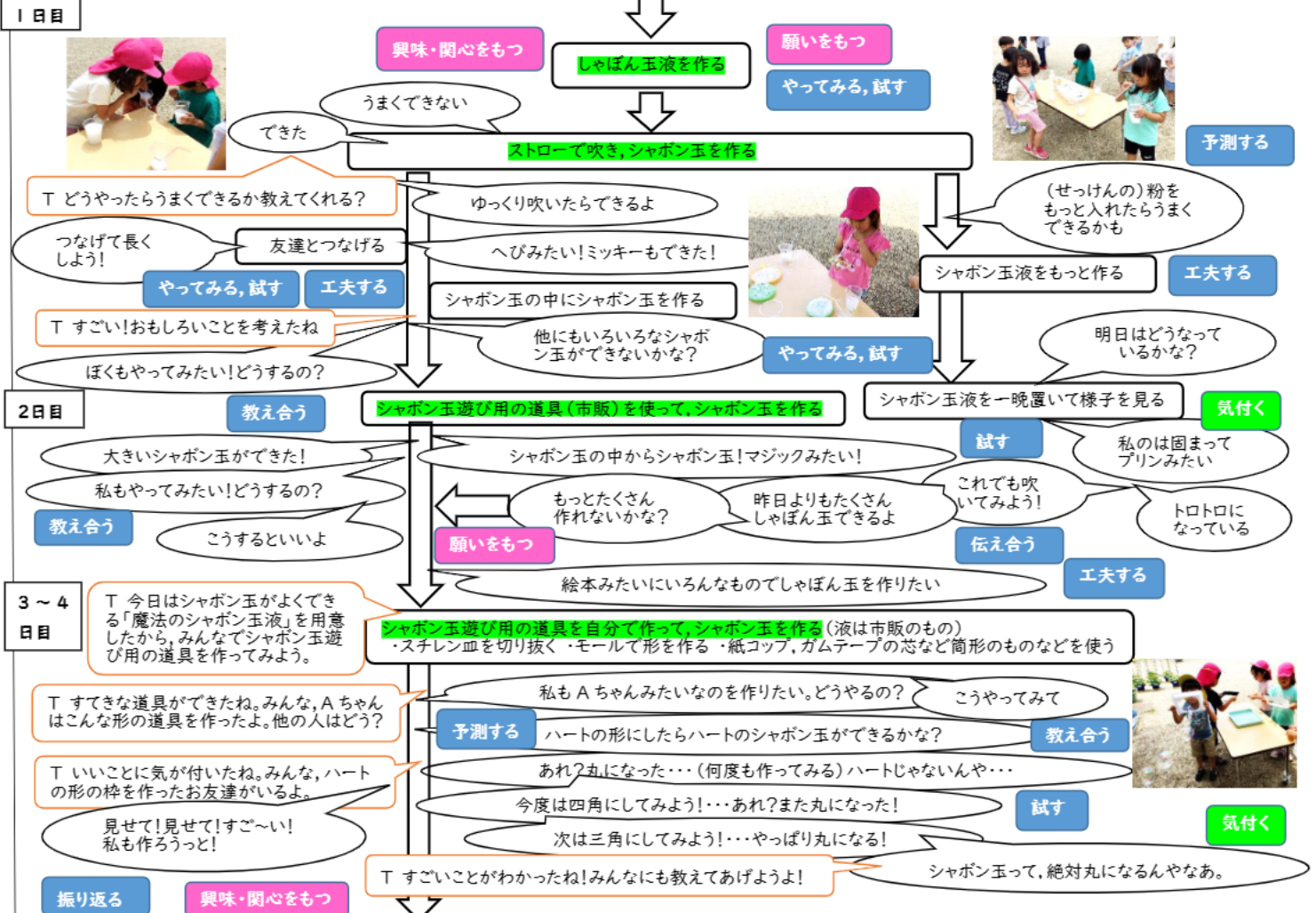
【遊びのプロセス】 *遊びの中で育まれている資質・能力を下のように表している

知識・技能の基礎 知識・技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

子どもたちは、絵本「しゃぼんだま」を見て、シャボン玉液が自分でも作ることができると知り、「やってみよう」「できるかなあ」と興味をもち、「本当にできるかやってみよう」「わーい!実験!実験!」とシャボン玉作りへの関心を高めていった。



振り返りの場面で、友達の話から枠の形が変わっても、シャボン玉の形は変わらないことを知り、他の子どもたちも枠の形を変えて試す姿が見られた。その後も、自分で考えたり、友達のを参考にしたりしながら自分で作った道具を使い、何度もシャボン玉作りをおこなっていた。また、自分たちで作ったシャボン玉液でも試してみても、「あんまりできないなあ〜」「ちょっとならできるよ。」「鏡みたいにならないと、シャボン玉はできないからなあ〜」などと、つぶやく姿も見られた。

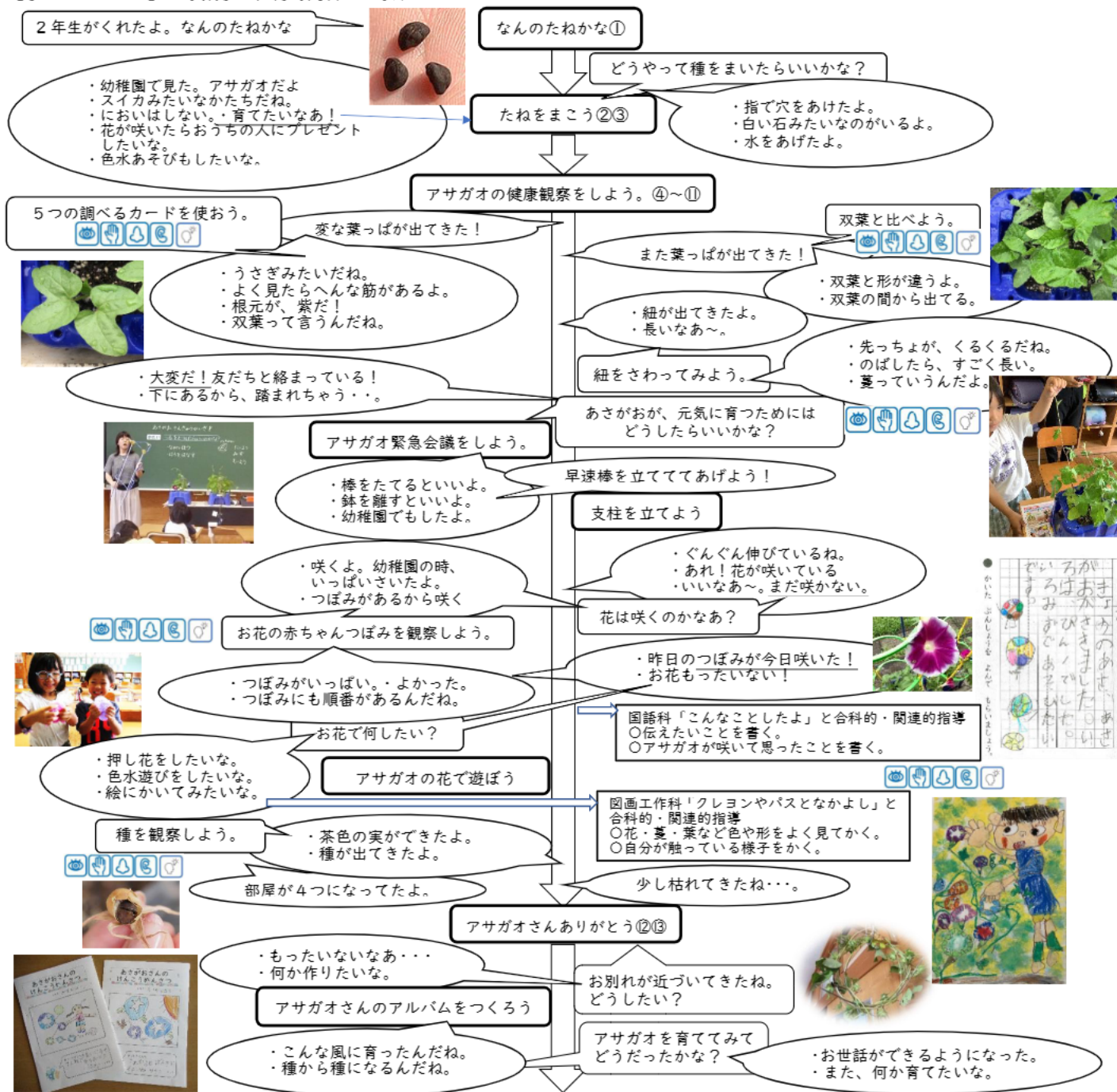
| | |
|--------------------------------|---|
| <p>□環境の構成・</p> <p>◇援助のポイント</p> | <p>□子どもの「やってみよう」という思いが実現できるように、材料や道具(石けん、砂糖、スチレン皿、モール、紙コップやガムテープ・トイレトペーパーの芯など様々な大きさの筒状のものなど)の準備、使いたいときに自分たちで出して遊べるような配置・遊びの状況に応じたタイミングで素材や道具の提示を行う。</p> <p>◇シャボン玉への興味をもち、友だちとイメージを共有して楽しめるような経験(シャボン玉の絵本や歌など)を設定する。</p> <p>◇遊びが発展していくように、子どもの気付きや考えに共感して、まわりに広げていく。</p> <p>◇試行錯誤する楽しさを味わうとともに思いを実現するために「どうしたらいいか」を子どもと一緒に考える。</p> <p>◇共通の目的を意識して遊びを進められるように、振り返りの場では、作ったものを紹介したり、気付きや考えを出し合ったりして、みんなで共有するようになる。</p> |
|--------------------------------|---|

| 【本活動・遊びで着目したい「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」】 | | |
|--|--|--|
| <p>数量や図形への関心・感覚</p> <p>シャボン玉に不思議さや面白さを感じ、いろいろなシャボン玉を作ってみようという願いをもち、自分なりに考えたり、予測したり、工夫したりしながら、シャボン玉の液作りや道具作りを行っている。繰り返し試す中で、シャボン玉を作る方法やシャボン玉の性質に気付くなど、科学的思考力が芽生えている。</p> | <p>思考力の芽生え</p> <p>シャボン玉遊びをする中で、感じたり考えたりしたことを言葉にする、自分のわからないことや知りたいことを尋ねる、シャボン玉や道具の作り方を友達に説明するなどして活動が共有されている。自分の気付きや考えを友達に伝えようとする中で、自分の考えがまとまったり、深まったりするようになり、思考力の芽生えも育まれている。</p> | <p>言葉による伝え合い</p> <p>シャボン玉遊びをする中で、感じたり考えたりしたことを言葉にする、自分のわからないことや知りたいことを尋ねる、シャボン玉や道具の作り方を友達に説明するなどして活動が共有されている。自分の気付きや考えを友達に伝えようとする中で、自分の考えがまとまったり、深まったりするようになり、思考力の芽生えも育まれている。</p> |
| <p>【小学校以降へつなげる資質・能力】</p> | | |
| <p>知識・技能の基礎</p> <p>・石けんと砂糖を使ったシャボン玉液の作り方が分かる</p> <p>・シャボン玉の性質に気づき、法則性が分かる</p> <p>・いろいろな道具を使って、シャボン玉を作る</p> | <p>思考力・判断力・表現力の基礎</p> <p>・いろいろなやり方を試したり、工夫したりする</p> <p>・予想したり比較したりする</p> <p>・友だちの気付きや考えに触れ、自分の遊びに取り入れる</p> | <p>学びに向かう力・人間性等</p> <p>・好奇心や探求心をもつ</p> <p>・何度もやってみる</p> <p>・うまくいかなくてもあきらめずにする</p> |

竹田市立南部小学校 1年生 5~8月 単元名「きれいにさいてね わたしのはな」(13時間)

| | |
|-------------|--|
| 単元目標 | アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていきや成長していることに気づき、植物への親しみをもち、大切にすることができ。 |
| 内容 | 身近な人々・社会及び自然にかかわる活動に関する内容(7)「動植物の飼育・栽培」自分自身の生活や成長に関する内容(8)生活や出来事の伝え合い |
| 幼児教育からのつながり | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">自然との関わり・生命尊重</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">自立心</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px; background-color: #ffff00;">言葉による伝え合い</div> </div> |

【学びのプロセス】*○数字は、何時間目かを表す



アサガオに名前を付けた時から、小さな友達のようにお世話を始めた。毎日水をやりながら、手定規を使って生長を喜んで、健康観察で見つけた葉や蔓、つぼみなどの成長や様子を確かめたりしていた。なによりも、最後まで大切に育てている様子が見られた。

| | |
|---------|---|
| 指導上の留意点 | ◇子どもの気付きから課題を設定 →子どもの困りや不思議を課題にすることで、主体的に予想したり問題解決をしたりしていく →その後の観察に生かす(例: C「蕾にも色々ある。」 T「どれが1番に咲きそう?」 C「アイスクリームの上の部分が開いていっているよ」色が少しずつ出てきているからこの順番!、次の日 C「これ、もう咲くと思うよ!ソフトクリームだもん!」など) |
| | ◇子どものゴールイメージから図工「アサガオの絵をかこう」や国語「こんなことしたよ(作文)」など合科的・関連的な指導を展開する。 ◇園や家庭で育てた経験を思い出させる時間を設ける。 ◇授業時間だけでなく、遊び込めるように色水遊び等を休み時間もできるように準備をしておく。(自由遊びのイメージ) |

| | | | | |
|----------------|---|---|---|--|
| 本単元を通して育つ資質・能力 | 《知識・技能》 アサガオを育てる活動を通して、育てている植物に合った世話の仕方や、植物が自分と同じように生命をもっていきや成長していることに気づいている。 | 《思考力・判断力・表現力》 アサガオを育てる活動を通して、植物が育つ場所、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができている。 | 《学びに向かう力・人間性等》 アサガオを育てる活動を通して、植物への親しみをもち、大切にすることができる。 | 今後の学習とのつながり ○2年生 生活科 「めざせ野菜作り名人」 ○3年生以降 理科 <植物の栽培> |
|----------------|---|---|---|--|



2年目(令和5年度)の 主な取組

【重点】

各小学校区で保育(授業)参観や連携会議等を自律的・計画的に開催していく

【主な取組】

- モデル園校の授業公開と子どもの姿をもとにした研修
- モデル園校の架け橋カリキュラムの公開
- 各校区での自律的な研修会等の開催

参加者の感想

- 練られたカリキュラムを組んでいけば、1年生でも考えを持ち、伝え合い、認め合い、探究心を持って取り組めることが分かった。
- 幼稚園で体験したことや学んだことを授業に取り入れてくださり、子どもたちが生き生きと主体的に活動する姿が見られた
- 校区でつながる機会を早く持ちたい。子どもを中心とした話をしていくとどんなものが生まれるかわくわくしてきた
- 自分の経験を振り返った発言をいかに引き出せるかは大事。子どもたちが「知ってる、経験してる」と自信をもって伝えていることがよく分かる授業でした

参加者の感想

- 今まで以上に幼保小が連携や協働しやすい環境を作っていただける事、とてもありがたい
- 南部小・南部幼のカリキュラムを参考に、自園でも保育を再度職員で見直す機会を作っていきたい
- 生活科の授業を見て、幼児教育に近いなと感じ、また一つ小学校を知ることができ、日々の保育につなげることができそうです。
- 今まで「園は園」「学校は学校」という意識がどこかにあったが、子どもにとってはつながりがあるので、それを最大限生かしていきたいと思います。
- 子どもたち一人一人を受け止めて、様々な体験を通して生き生きと過ごせる環境を作っていきたいと思った。

参加者の感想

- 型にはまりすぎず、交流の回数を重ねることで、校種間連携が自然にできるようになるといいなと思いました
- 活動の環境構成や先生の言葉かけなど自分の保育にも生かせることが多々あった。カリキュラムを参考に自分の保育内容を見直していきたい。
- 1年生の担任を何度もしていますが、アサガオの観察が子どもたちをこんなにも生き生きとさせることができるのだと初めて知りました。

参加者の感想に見る変化

1回目（R4年度）

1回目の感想の特徴：

初めての驚き：参加者たちは初めて「架け橋プログラム」に触れ、その有効性や可能性に驚きを感じています。

期待の高まり：今後の取り組みや続く研修に対する期待感が感じられます。

実践への意欲：新しい方法やアイデアを自らの現場に取り入れる意欲が強調されています。

2回目（R5年度）

2回目の感想の特徴：

実践の深化：1回目の驚きや学びが実際の教育現場での取り組みとして深化し、具体的な成果や変化が観察されています。

連携の強調：幼児教育と小学校教育の連携の重要性やその具体的な方法についての言及が増えています。

自己反省と成長：教育者自身の成長や自己反省のプロセスがより強調され、その中での新たな気づきや学びの深まりが感じられます。